

ネイティブと気軽に楽しむ

# 英語で雑談!

スモール  
トーク

218 Small Talk Samples That Work

Nathan Long

ネイサン・ロング



CD付き

その場が和む<sup>なご</sup>「雑談」<sup>スモールトーク</sup>を、もっと気軽に。

「どんなことをしゃべったらいいの?」「どんなふうに話しかけたらいいの?」  
「気軽な感じの話し方って?」...こんな疑問にもお答えします。

ネイティブと気軽に楽しむ

# 英語で雑談!

スモール  
トーク

Nathan Long  
ネイサン・ロング

218 Small Talk Samples That Work

---

---

---

語研

英語で雑談！ ためし読み [Webページへ](#)

## はじめに

「気軽に英会話ができるようになりたい!」「堅苦しいルールを気にせず、ただおしゃべりがしたい!」——そんな人は難しい文法や単語を押しつけてスモールトーク(雑談)をしましょう! 用意も学歴もいらない、ただ話したいという心。そう、会話はそのハートが大事! そのハートを伝えることができるのが、短くて人当たりのよい口調で話す“スモールトーク”なのです。

この本は、「私はシャイで…」「英語に自信がないし」という人のために書きました。shy(恥ずかしい)からHi!(こんにちは)に切り替えるコツをお教えます。スモールトークは、自分はXさん(とある日本人)で、相手もMr.[Ms.]X(とある英語を喋る人)で、自己紹介なしの短いトークです。つまり、リスクのない会話。この本を通して、このスモールトークがどんなに大事が理解できたら、そして、それが簡単にできてしまうコツがわかれば、きっとあなたも英語を話してみたくなる気持ちになるでしょう。

スモールトークでは、話してみようとする努力、それだけが必要! 一度、ボクの家が外国人のプロバスケット選手にばったりあって、僕は娘に“**This man is a basketball player.**”と言ったら、5歳の次女が彼に向かって、“**I can do that, too.**”(私もできるよ)と言った! 実は、平気な顔で失礼なことを言っていた次女は嘘は言っていない。彼女もバスケットボール(本人は少なくともそのつもり)を30分ぐらいやったことがあったので、**She is a basketball player.**(彼女はバスケットボールプレーヤー=バスケットをやる人)と、たしかに言えるのかもしれませんが。選手は彼女を見下ろして、「それはいいね!」って言ってくれました。彼女のガッツを楽しんでくれたみたいでした。僕は皆さんに、ガッツのある次女のように、レベルを気にしないで「私も英語がしゃべれる!」と感ずることができる人を増やしていきたいと思っています。

この本は、「天気」「スポーツ」「映画」「ショッピング」など、話題別(全20トピック)に構成しました。サンプル会話の場面・状況設定は、できるだけバラエティに富むように書きました。長さは10秒前後くらいにキープしています。

これらのサンプル会話を通して、気軽さとその場を和ませるスモールトークならではの会話スタイルを味わっていただけるのではないかと思います。**Easy in, easy out**(軽く入って、軽く出る)という具合に、相手にさわやかな印象を与えましょう。是非、ちょっと今までとは違った英会話スタイルを楽しんでみてください。

2010年6月

著者

はじめに iii

## 目次

はじめに..... iii

**Chapter 1 天気 Weather**..... 2

- ▶ 今日は何雨降る？／ハワイのような気持ちよさ／大雨／雨が降ればいいのに／犬の日／手袋を買おう／秋の始まり／ニューヨークは大雪／暑さか寒さか

【コラム①】 会話のきっかけをつくる切り出しの言葉 10

**Chapter 2 スポーツ Sports**..... 12

- ▶ 頑張りました／熱いサッカーチーム／小さな相撲取り／楽しい相撲／テレビでラグビーを見る／試合に負けた理由／私のホームチーム／私の好きな野球選手／今シーズンのアメフトは？／ワールド・シリーズのチームは？

**Chapter 3 子育て Parenting**..... 22

- ▶ 養母と生みの母／いつか子供を／彼女は妊娠中／いいお母さん／子供好き／双子のお母さん／魔の2歳児／ベビーシッターを頼もう／厳しいお父さん①／厳しいお父さん②

**Chapter 4 健康 Health**..... 30

- ▶ 微妙な捕鯨問題／背が高いのか、太っているのか／高カロリーの特別食／骨太な女性／頭がいいのか細いのか／階段を使おう／寝る前のストレッチ／ジョギング／やせている花屋さん／寝る時間／理想的な睡眠時間／温泉に行つてリラックス／十分な睡眠時間／くしゃみ／強力な頭痛薬

【コラム②】 会話がはずむ表現 41

**Chapter 5 病院 Hospital**..... 42

- ▶ 順番待ち／会社より楽しい所へ／従業員の修理／けがは最高？／95ドルの指／本当の病気／亡くなったおば／日本の旅行保険／初診の申し込み／病院にあるウォーキングコース／お見舞いに行く／貯金が減る予定

【コラム③】 話題の転換 (Transition) 52

**Chapter 6 教育 Education**..... 54

- ▶ 5時までは保育園に／勉強が好き／制服は赤いTシャツ／新学期の準備／大切なランドセル／あつという間の夏休み／言葉のスイッチ／人生で最高のとき／今日の先生／電車の乗り方／大学と陸軍

## Chapter 7 映画 Movies ..... 64

- ▶ 最高のコメディアン／人気の映画／アクション・スター／空港の大スター／マドンナの足の指／「いい」か「最高」か／大きなスモールサイズ／怖いコメディ映画？／おめあてのポスター

## Chapter 8 旅行 Travel ..... 72

- ▶ 休暇を過ごす場所／タイミングの悪いハネムーン／ファンタジーの世界へ／長いフライトに／長時間のバス旅行／日本の大きなもの／避暑に行きたい／いいホテル／シートベルトは嫌い／ロマンスカーに乗って／雑誌をもう1冊／ラッキーな日

## Chapter 9 ファッション Fashion ..... 82

- ▶ すてきなジャケット／すてきなブラウス／洗濯機で洗えるセーター／かわいいタンクトップ／鼻ピアス／ウォルマートの靴／いい買い物／ファスナーの付いた靴／春のセール／薄手のスーツ／合成皮革のハンドバッグ／欲しかったハンドバッグ／ネクタイの柄

## Chapter 10 ショッピング Shopping ..... 92

- ▶ 雨の日の買い物／農場のボクサー／ベッドルームの飾り／赤い花瓶／在庫処分セールのタイミング／トロントのモール／ホット・ブレッツェルのお店／新しいお店／モール・ウォーカー／日本のモールにないもの／小さな日本のスーパー／ギャンブルのお金／クリスマスの借金

## Chapter 11 運転 Driving ..... 104

- ▶ タクシーを運転するのは楽しい？／免許を取るには／なかなか取れないバスの運転手／運転を習う／運転は上手？／あこがれのバスの運転手／2人乗りの車／はじめばかり／小型車／タクシーに乗るには／車に気をつけて／右ハンドルの車／安全運転の本

【コラム④】 自然な会話の締めくくり方 114

## Chapter 12 音楽 Music ..... 116

- ▶ 人気の音楽／ラップ音楽／映画音楽／生演奏／音楽と子供／クラシック音楽／ハードロッカー／プロモーション・ビデオ／空港のローリング・ストーンズ／無料のコンサート

## Chapter 13 食べ物 Food ..... 126

- ▶ 冷凍食品／ベジタリアンの本／パーティの準備／機内食／私の注文／マフィンを注文する／シーフード・ダイエット／レストランの朝ご飯／テキサスのマグロ／ビン入りの酢ダコ／キャセロールの中身／持ち寄りランチ

【コラム⑤】 感情表現など 136

## Chapter 14 家 House.....138

- ▶ 大きな家／高級マンション／レストランのインテリア／日本の家事情／家より広い喫茶店／新しい家のインテリア／趣味は日曜大工／ペンキ塗り／持ち家／雑誌に出ている家／器用な日本人／日本の不動産屋

## Chapter 15 休日 Holiday.....150

- ▶ 休校日／今日は休日／フランス人の観光客／公園で／今日は休日／半日だけの休み／日本の温泉／海開き／休暇はフロリダに／ホテルの予約／いつかはヨーロッパに

## Chapter 16 仕事 Business.....160

- ▶ 仕事は大変／大変な一日／エネルギーの補給／楽な一日／熱心に働く人たちを見て／成績不振／弁護士を探す／楽しい週末／宝くじに当たったら／忙しい昼休み／初対面の人

## Chapter 17 政治 Politics.....170

- ▶ 今日のニュース／政治家の来るバー／子供の法律／知事の素顔／政治団体の会合／タバコと税金／チェーン店のオーナー／電気バス

## Chapter 18 家族 Family.....178

- ▶ 私のおじさん／ウオッカと父／お母さんの言うこと／家族旅行／ピクニック／食べ放題のレストラン／特別な日／大家族の買い物／楽しいパーティ

## Chapter 19 趣味 Hobbies.....188

- ▶ 休みの計画／レジ係はコイン・コレクター？／手芸ブーム／ガーデニング／機内で読む本／キッチンのリフォーム／アート用品の店／趣味はマラソン／いいカメラ

## Chapter 20 結婚 Marriage.....198

- ▶ 奥さんの誕生日／家にいるボス／バレンタインデー／犬の名前／サラダバーのドレッシング／2回目のハネムーン／買い物をする夫／妻の許可／メールオーダー

【装丁】 高橋かおり

【本文イラスト】 小島真樹

【ナレーション】 Jack Merluzii

Edith Kayumi

Josh Keller

Helen Morrison

ネイティブと気軽に楽しむ

# 英語で雑談!

スモール  
トーク

218 Small Talk Samples That Work

---

---

---



# Chapter 1

---

## Weather 天気

天気の話 (talk about the weather) はあいさつ代わりにもなるし、日本語と同じように **icebreaker** (緊張や堅苦しさなどをほぐす会話) としてよく取り上げられます。スモールトークの基本中の基本、といってもいいのではないのでしょうか。英語社会では、天気について話すことはフレンドリーな会話の象徴ともいわれています。ですから、しっかりポイントを押さえて、気軽にトライしてみてください。

パーティなどで知らない人と目があってしまったときには、**Hello, my name is ~.** (こんにちは、私は~です) の前に、天気について話すといいでしょう。お互いプライベートな話題について話す必要がないので、知らない人にでも気軽に話しかけることができ、最高のきっかけになります。アメリカでは、知らない人にいきなり

**Will it rain today?** (今日は雨降るの?)

と声をかけられても、驚く人はいないと思います。

### Track# 2-1

**Sample: 今日は雨降り?**

**M: Will it rain today?**

**W: Yeah, look at those dark clouds!**

**M: You're right, they look pretty bad.**

M: 今日は雨降るのかなあ?

W: うん、あの黒い雲を見てよ!

M: そうだね、ひどい色だね。

ガソリンスタンドで車にガソリンを入れていたとき [アメリカではセルフがほとんど]、隣の車の人から



**You think it will snow today?** (今日、雪が降ると思う?)

と聞かれたものです。ポンプを持ってガソリンを入れている間のボーッと立っている時間を、おしゃべりで埋めようということですね。

今まで頑張って英会話を勉強してきた人は、ついつい話しかける前に *Excuse me.* (すみません) とか *Hello.* (こんにちは) と言ったほうがいてないだと信じていますが、本当のところ、そうしたことを言わずに話し始めるほうがフレンドリーなのです。日本語でも、おばさんたちが天気の話を始めるときに、「あのう」「すみません」と言ってから話し始めることはありませんよね。英語でも同じです。

Track# 2-2

Sample: ハワイのような気持ちよさ

**M:** Looks like it will warm up today, yeah?

**W:** Yeah, I bet it will get nice and balmy.

**M:** Ooh, like Hawaii!

\* **look like** 「～のように見える [思える], ～になりそうである」 / **balmy** 「うらかな, 気持ちのよい」

M: 今日は暖かくなりそうだね。

W: うん, いい天気で気持ちのいい日になるだろうね。

M: うーん, ハワイみたいにね。



もちろん大都市でもこのスタイルは変わりません。ニューヨークでも

**Is it hot enough for you?** (この暑さ、きみには十分かい?)

\*あまりの暑さを皮肉っぽくいう表現。

と言われたことがありました。僕は

**Yeah, it's nice and sticky.** (うん、ベタベタしていて、いい感じだよ)

\* **sticky** 「べとべとする、(天候などが) 蒸し暑い、暑苦しい」《形容詞》

と返事をしましたが、こうしたフレンドリーな会話は、日々のストレスを一瞬だけ軽くしてくれる効果があると思います。

そうそう、天気の話はその日の天気だけではなく、過去に体験した天気にまつわる出来事や、ニュースで見た外国の天気の話などでもOKです。



Track# 3-1

**Sample: 大雨**

**M: Hi, there. Do you like all this rain?**

**W: It's great!**

**M: Well, try not to get wet.**

M: お、こんにちは。どう、この雨？

W: すごいよね。

M: まあ、濡れないようにね。

**Hi, there.** は、直訳すると「よう、そのの」ですが、ニュアンスは「そのの人、こんにちは」という感じです。カジュアルですが、失礼ではありません。失礼にあたる言い方は **Hey, there.** (おい、そのの) です。とはいえ、仲のいい友だち同士では使っていますけれどね。

あまりにひどい天気のとときには、つらさをジョークで乗り切るつもりで、軽く話してみましょ。スモールトークは、その場で楽しく会話できるかどうかが大変なのですから。ユーモアたっぷりの英語はすぐには出てこないと思いますが、これをマスターしたくて英語の勉強を頑張る日本人も多いくらい、英会話にユーモアはつきものなのです。

## Sample: 雨が降ればいいのに

M: I hope it rains today.

W: Why? You don't mind the rain?

M: No, I want to wash my hair, ha ha.

W: You need to save money, right?

\*~, right? 「《自分の発言を相手に確認して》～だよ?, でしょ?, ~ですよね?, 間違っていないよね?」。

M: 今日、雨が降らないかなあ。

W: 何で? 雨がいやじゃないの?

M: いいや、髪を洗いたいんだよ、ははは。

W: お金は節約しなくちゃね。

ところで、**Do you know ~?** (～を知っていますか) と聞かれると、聞かれたからにはできるだけ正しく答えなくては、という気持ちになるかもしれません。でも、いつも絶対こうだという返事ができるとはかぎりません。そんなときには、**I don't know.** (わかりません) とわず、**I think ~** (確か～だと思う) を使うといいでしょう。なぜって、仕事の報告をしているわけではないのだし、コミュニケーションが第一!

そこで、文章の最初に **I think** を付けて、「自分はこうだと思うんだけど」と意見を言ってみてはどうでしょう。「間違っていないから、自分の考えを伝える」という積極的なスタイルを身に付けましょう。

さて雨といえば、多くの人知っているように、欧米には梅雨がありません。うらやましいですね。でも、長く雨の降らない暑い日が続くと、すべてが乾いて風も吹かない状態になります。そんな日を英語では **dog days** と言っています。犬もまいってしまうくらい暑い、という感じでしょうか。かわいい呼び方ですが、本当に暑そうですね。

ほかに天気を表す言い方に、**Indian summer** があります。冬に向けて肌寒い日が続いているとき、突然やってくる暖かい日を **Indian summer** と呼んでいます。温度でいうと21度くらいの晴れた日に使います。

こうした言い方はカジュアルですが、どこでも使える言葉です。

気象予報士も **dog days** や **Indian summer** という言葉を使ってコメントしています。テレビで見てもビックリしないですね。

Track# 4-1

Sample: 犬の日

M: **I think this summer is hotter than last year.**

W: **The weather reporter said it is.**

M: **Yeah, these are the dog days of summer!**

W: **Yup. We've had no wind or rain for days now!**

M: この夏は去年より暑いと思うなあ。

W: 気象予報士はそうだと行ってたよ。

M: そう、これが「ドッグ・デイズ・オブ・サマー」だね。

W: うん。もう数日間も雨も風もないよね。

Track# 4-2

Sample: 手袋を買う

W: **Mild winter, isn't it?**

M: **Yeah, but I heard it will get cold next week.**

W: **Really? I need to buy some gloves then.**

W: 暖かい冬だね？

M: そうだね、だけど来週から寒くなると聞いたよ。

W: そうなの？ じゃあ、手袋を買わなきゃ。

**mild** (暖かい) は、**hard** (厳しい) とか **bad** (悪い) の反対の意味で、住みやすい気候や気温を表すときに使います。

**Kyushu has mild winters.** (九州の冬は暖かいですよ)

**Karuizawa has mild summers.** (軽井沢の夏は涼しいですよ)

という言い方をします。**has** を使うところがポイントです。**some gloves** はもちろん **a pair of gloves** (ひと組の手袋) のこと。

**heard** も前述の **I think** と同じように、確実な情報ではないけれどど

こかで聞いた、という情報について話すときに便利です。メディアから聞いたかもしれないし、ほかの人の会話を小耳にはさんただけかもしれません。出所ははっきりしていないけれどどこかで聞いた、ということは多いですね。

でも、教えてもらった情報があまりに怪しいときには、

**Where did you hear that?** (どこで聞いたの?)

と突っ込んでもいいかも。あまり強い口調で聞くと尋問のようになるので、軽く聞いてみて。こういうところは日本語での会話と同じ感じなので、わかりやすいですね。

Track# 4-3

Sample: 秋の始まり

**M: Do you think this summer will get hotter?**

**W: No, the bugs are getting quiet already.**

**M: Oh, I didn't notice.**

M: この夏はもっと暑くなると思う？

W: ううん、虫たちはもう静かになり始めてるよ。

M: へえ、気がつかなかった。



**Do you think ~ ?** (~をどう思いますか) を使うのは、相手の意見を聞きたいとき。聞かれたら **I think** を使わずに、**Yes/No** で返事してもかまいません。

**didn't notice** は、日本語の「気がつかなかった」とまったく同じです。**didn't know** は使えても、**didn't notice** が出てこない人が多いようですが、使い始めると便利です。

日本では虫の声は **the signs of the season changing** (季節の移り変わりの兆候) です。虫の声が聞こえ始めると、「夏も終わりだなあ」と、しみじみ思います。季節の移り変わりの兆候も場所によって変わります。僕の友だちは、「馬の毛で夏の終わりを感じる」と言っていました。動物の多くは、冬が近づくと **winter coat** (冬毛) といわれている長い毛が生えてきます。寒い冬を乗り切るための準備ですね。それが「冬が来るぞ」、という **sign** [ここでは「兆候」という訳がピッタリ] です。彼は牧場主なので、動物の様子から気温の変化を知ることとはとても大切だと力説していました。**the signs of the season changing** も、生活がかかっていると、しみじみと感じてはられないようです。

アメリカでは 1792 年から毎年 *The Old Farmers Almanac* という本が出版されていますが、なぜかこの本の気温の移り変わりの予想は不気味なほどよくあたります。この本はもともと **farmers** (農場主) の収穫予想のために書かれた本なのに、今では **non-farmers** (農場主以外の人) に年間 400 万冊以上売られていて、テレビ局まで参考に使っているというわけです。すごいですね。



Track# 5-1

Sample: ニューヨークは大雪

M: **Guess what! It's snowing hard in New York.**

W: **Yeah, I saw it on TV.**

M: **I'm happy I don't have to shovel that much snow.**

M: ねえ、聞いて。ニューヨークで雪がすごく降っているそうだね。

W: うん、テレビで見たよ。

M: あんなにすごい量の雪かきをしなくていいなんて、幸せだよ。

**Guess what!** (ねえ、聞いて)

は、ちょっとしたビックリニュースを言う前のイントロの言葉。もともとは「信じられないことがあったから、あててみて」という使い方でしたが、今では相手の注意をこちらに向けるための言い回しになっています。本当に質問しているわけではないので、ご注意ください。

僕が東京に戻ってきてうれしいと思うことは、**shoveling snow**（雪かき）をしなくていいことです。アメリカのオハイオ州に住んでいたときは、雪かきは大仕事でした！ いくらきれいな雪景色とはいっても、庭の広さをうらめしく思いました。どの家にも **driveway** という道路から車庫までの私道があって、これがけっこう長いのです。もしシャベルで雪かきをしようものなら、そこだけで数時間かかることも。ですから、**snow blower** というガソリン式の雪吹き飛ばし器（!）を買う人がたくさんいます。

毎年、雪のおかげで背中を痛めて入院する人や、心臓発作で亡くなる人もいます。こう聞くと「ちょっとくらいの雪、ほっとけばいいのに」と思うかもしれませんが。でも「もし雪をそのままにしておいたら、あなたは **big risk** を抱えることになる」と言ったらどう思いますか。あなたの家の前でだれかが滑ってケガでもしたら、高額な損害賠償を払う羽目になりかねないのがアメリカ。ですから必死になります。そのうえ雪かき〔日本だと落ち葉掃き!〕をしていないと近所の評判も悪くなるし、郵便局員は雪をいやがって手紙を配達してくれなくなるかも。きれいだけどパワフルな自然の前で、人間は四苦八苦というところでしょうか。

Track# 5-2

Sample: 暑さか寒さか

M: **It's so hot and dry these days!**

W: **It's better than cold and damp though, isn't it?**

M: **That's right.**

M: この頃、ひどく暑くて乾燥してるねえ！

W: 寒くて湿気があるよりはいいでしょう？

M: そりゃそうだな。

**damp** (湿気がある) は、まさに日本の梅雨を説明するのに最適な言葉です。なにかが「ぐっしょり濡れている」ときも **damp** を使います。「濡れている」と聞くと、**wet** という単語を思い浮かべると思いますが、**damp** との違いは何だと思いませんか。僕はいつもクラスでこう説明しています。もしタオルをしぼって、そのとき水がしたたってこなかったら **damp**、もし水がしたたったら **wet** だと。さわるだけで水がしたたるとなったら **dripping** とか **dripping wet** です。つまり、**damp** → **wet** → **dripping** の順で、水分を含む割合が高くなるということです。「なんとなく」でかまいませんので、覚えておきましょう。梅雨はありがたいことに **dripping** ではありませんが、気分は **dripping** という感じですね。

**damp** といえば、大学時代、冬に室内プールで泳いだあと、髪が **damp** な状態で駐車場まで歩いていったときのことです。車に乗ってから、頭の感じがなんだかいつもと違うことに気がつきました。手をやってみたら、なんと髪がプラスチックのようにカチカチに凍っていました！ ちょっと押してみると、ポキリと折れてしまいます。プールから車までわずか1, 2分しか歩いていなかったのに、寒さですっかり凍ってしまっていたのです。確か、その日はマイナス15度くらいだったでしょうか。

冬は、**Dry your hair before you go outside.** (外に出る前に髪を乾かして) と子供のときいつも言われていましたが、本当に大切なことだったと実感しました。

### 【コラム①】 会話のきっかけをつくる切り出しの言葉

よく聞く英会話の悩みには、「どうやって会話を切り出せばいいかわからない」があります。大きな問題のようですが、簡単に解決できる問題なのです。

日本の文化では、物事をちゃんと、きちんとすることが評価されます。会話でも、何となく **correct start** (正しい始め方) とか **proper start** (適切な始め方) が要求されていると思いがちですが、確かに英語のスピーチ



では大事なことです。ふつうの会話やスモールトークでは致命的な考え方だと思います。なぜなら、相手は、あなたがこの「正確さ」を求めて英文を考えているとき、「緊張しているのかな?」とか「ちょっと変な人なのかも」と思っているからです。ですから、スモールトークでは早く口から言葉を出すことが大切です。

僕は、会話を始めるタイミングは、相手との体の距離が2メートル以内になり、目があってから5秒以内だと思います。本当なら切り出し言葉として、すごく難しそうでカッコイイセンテンスを教えたいところですが、会話のきっかけをつくる切り出しの言葉 (**conversational gambit**) は、2, 3秒で言える文章でないといけません。切り出し言葉は、会話をスタートするための**犠牲フライ**のことだと思うくらいでちょうどいいでしょう。

もともと **gambit** の意味はチェスで大きなわざをかけるための一つのゲームピースを犠牲にして動かすことです。確かにスモールトークのスタートは大事ですが、軽く始めるのがコツです。結果として切り出しの言葉はそうカッコよくはならず、ちょっとつまらない普通のコメントになるかもしれません。一文は、たいてい2語から6語くらいまでです。

**Cold day, yeah?** (寒い日だね)

**Quiet elevator.** (静かなエレベーターだ)

**It's a nice lobby.** (いいロビーだ)

**Really nice place.** (いい所だな)

などに、僕なら **well** や **so**, **wow** のどれかを前に付けます。

僕の経験では、すごく当然なことを切り出し言葉に使う人が多いようです。例えば、ジャンボジェットに乗ったビジネスマンなら、

**Wow, this is a big plane.** (わあ、大きな飛行機だな) とか、イスのことを **Can't sleep well in these seats.** (このイスじゃ、ぐっすりは眠れないな) とだれでもが「そうだね」と言いたくなるコメントです。カジュアルな切り出し言葉なら、

**What's up?** (どう? / 元気?)

**How's it going?** (どう? / 元気?)

は、両方とも幅広く使われていて、返事はたいてい **Good.** です。切り出し言葉のゴールは、早く!、そして軽く!と覚えておきましょう。



## Chapter 2

---

### Sports スポーツ

「スポーツ」の話題を切り出すと、目を輝かす男性は多いようです。なぜ輝くのか？

**Because sports are thrilling!** (スポーツはスリリングだから)

自分と同じスポーツに興味を持っている人に出会うと、会話がピンポンのようにリズムカルにはずんでいきます。せっかく会話がはずんでいるのに、何らかの理由で終わらせなくてはならなくなったときは、

**Well, nice chatting with you.** (おしゃべりできてよかったです)

と言って終わらせればいいでしょう。

スモールトークで、「スポーツ」が話題になることが多いのには理由があります。スポーツ系トークは文法を気にしなくていいし、文章が短いことで有名だからです。単語自体は簡単でも、大げさに表現するのがスポーツの会話の特徴です。**good, great, amazing, super, best** などを使った文章がポンポン飛び出していきます。「これくらいの単語なら使える！」と思うなら、大げさな単語を使って、思い切り大げさに相槌を打ってみるといいでしょう。

実際、プロのスポーツ選手のインタビューを気をつけて聞いてみると、簡単な単語ばかり使っているのに気がつきます。でも、単語は簡単でも、興奮して早口でしゃべる選手のインタビューを聞き取るには、スピードに慣れることが必要です。

## Sample: 頑張りました

W: **How do you feel about your win today?**

M: **I feel great! I just did my best today!**

W: **This was your day!**

M: **Thanks. I really think it was.**

W: 今日の勝利の感想は？

M: 最高だよ！今日は頑張ったんだ。

W: 今日は本当にあなたの日でしたね！

M: ありがとう。ほんとにそう思うよ。

知っている単語ばかりの文章でも、英語の先生が4, 5秒かけて話してくれるところを、彼らは早口で2秒くらいで話してしまうので、「難しい」とってしまうのも無理はありません。スポーツについての会話で一番大事なのは、単語力ではなく、スピードに慣れることです。

## Sample: 熱いサッカーチーム

M: **Did you see the soccer match last night?**

W: **Mmm, just part of it, but it was great!**

M: **Yeah, that team is hot!**

M: 昨日の夜のサッカーの試合、見た？

W: うーん、一部分だけだったけど、すごかったね！

M: そう、あのチームは熱いね！

こんな展開になるでしょうか。ここでは **Did you see** と使っていますが、テレビの放送は必ずしも **watch** を使わないといけなわけはありません。カジュアルに **Did you catch ~** と言うこともあります。

Sample: 小さな相撲取り

M: **Hayanoshyo is an amazing Sumo wrestler!**

W: **Yes, he's been wrestling great all year.**

M: **He's short, but he's super fast!**

M: 早の小はすごい相撲取りだな。

W: そう、彼は1年間よく戦ってきたわ。

M: 彼は小さいけど、本当に早いよ！

ちよつとここで、発音をチェックしてみましょう！

**Sumo wrestler** と **small wrestler** を両方言ってみてください。もし、2つがほとんど同じように聞こえたら、少し発音を直す必要があります。**Sumo** は「スモウ」と発音する日本語ですが、アクセントは「ス」に付きます。「スウモウ」です。ちよつと英語らしく聞こえるでしょう？

**small wrestler** は **small** の **a** を日本語の「あ」に近い音で「スマアォ」、アクセントは「マ」に付きます。英語は発音で誤解されることが多いので、気をつけましょう。

Sample: 楽しい相撲

W: **Do you like Sumo wrestling?**

M: **Uhh, yeah, it looks fun.**

W: **Yeah, Sumo is fun to do and watch!**

W: 相撲は好き？

M: ああ、楽しそうだね。

W: そう、相撲はとるのも見るのも楽しいよ！

「相撲」は **Sumo wrestling** と呼ばれていて、「相撲取り」は **Sumo wrestler** といいます。よく英会話のレッスンで、生徒さんは **Sumo players fight in a Sumo game.** (お相撲さんは試合で戦っている) と言いますが、正しくは、**Sumo wrestlers wrestle in a Sumo match.** (相撲

取りが相撲をとっている) となります。

Sumo players と同じような間違いに Sumo fighters があります。格好よく聞こえますが、これは間違いです。この機会に、僕がいつも気になっている **fight** という単語についての誤解を、ひとりでも多くの人に解いて欲しいと思います。

日本語ではどのスポーツにでも「戦う」を使いますが、実は英語で **fight** が使えるスポーツは、ボクシングと格闘技だけなのです！ **dog fight** (闘犬), **fist fight** (殴り合い) のように, **fight** (けんか/格闘) は、英語では攻撃的な言葉なので、「平和的なスポーツでは **fight** という言葉は使わないようにしよう！」と、カタカナ英語の間違い改善を求めたデモ行進でもできそうな僕。アメリカやカナダでは「プロレスはエンターテインメント」と考えられているからか, **fight** はなんとプロレスにさえ使いません！「野球などで **fight** を使うのはタブー」、とまでは言いませんが、相手は間違いなくビックリします。

日本語では「己と戦う」とも言いますから、スポーツ精神を表すのにピッタリくるのかもしれませんがね。でも、すごく頑張っている様子を表したいのなら, **play hard, try hard, work hard, do his[her] best** のような言い回しを使ったほうがいいでしょう。とにかく、「格闘技ではないスポーツでは **fight** しない！」ということのを、ぜひ、この機会に覚えておいて欲しいと思います。

ついでに言うと、ちょっとした夫婦の口げんかを, **My wife and I had a fight last night.** (昨夜、妻とけんかした) と言う人がいますが、これを聞いたアメリカ人は「殴り合いのけんか」を想像してしまいます。暴力的な夫婦のイメージを与えないように、口げんか程度なら, **argue** [アーギュア] を使しましょう。実際、野球では時々殴り合い (**fight**) をしますが、夫婦で **fight** することのないように、ご夫婦仲よくね。

Track# 8-1

Sample: テレビでラグビーを見る

M: **Do you ever watch rugby on TV?**

W: **No, what channel would that be on?**

M: **It's on the ESPN cable sports channel.**

M: テレビでラグビーを見ることはあるの？

W: いいえ、どのチャンネルでやってるの？

M: ESPN ケーブルスポーツチャンネルでやってるよ。

スポーツをテレビで観戦するとき、○○ **is on TV**. か、○○ **is on the TV**. か、TV に **the** を付けるべきかどうか迷う人が多いようです。実は、「テレビに映っている」と言いたいときには **on TV**、何かかが「テレビの上に乗っている」とときには **on the TV** と言います。**the** ひとつですっかり意味が変わってしまうので、注意が必要です。難しいと思わず、単純に考えて、まずスポーツでは **on TV** しか使わないと覚えておきましょう。でも、最近の薄型テレビ傾向では、テレビの上にものを置くこと自体できなくなるかも。もうすぐ **on the TV** は死語になってしまうかもしれませんね！

Track# 8-2

Sample: 試合に負けた理由

W: **I can't believe the Chicago White Stockings lost!**

M: **They weren't trying hard enough.**

W: **Right, I think you're right.**

W: シカゴ・ホワイト・ストッキングスが負けたなんて、信じられないわ！

M: 頑張りが足りなかったんだよ。

W: そう、そのとおりだと思うわ。

ちなみに、**Chicago White Stockings** は僕が作ったジョークの名前ではありません。今をときめくメジャーリーグの **Boston Red Socks** から取った名前だと思ったでしょう？ 実はちゃんと 100 年前にシ

カゴで実在したチームで、あとから **Chicago Cubs** [こちらもメジャーリーグです] という名前に変わったチームです。

さて、だれでも知っている **home** (家) という単語は、スポーツのいろいろな場面で使われています。**home team, home game, home run, home base**…便利ですよ。

**home** を使った、よく聞かれる質問に、

**What's your home team?** (きみのホームチームは、どのチーム?)

がありますが、皆さんはどう答えますか。そもそもその前に、**home team** とは何だと思えますか。**home team** は、「出身地のチーム」のことです。例えば、広島出身だったら「広島カープ」が **home team** ということです。いわゆる「地元のチーム」のことですね。

Track# 8-3

Sample: 私のホームチーム

M1: I'm going to the stadium tonight.

M2: I didn't know you were a Yankees fan.

M1: I'm not. The visiting team is my home team.

M2: Mariners! I didn't know you were from Seattle.

M1: 今夜、スタジアムに行くんだ。

M2: きみがヤンキースファンだとは知らなかった。

M1: 違うよ。相手のチームがホームチームなんだ。

M2: マリナーズか！ きみがシアトル出身だとは知らなかったよ。

**What's your home team?** は地元の人間ではない人に会ったとき、お互いによく尋ね合う質問です。お互いどこのファンか確かめてから、熱い会話が繰り広げられるというわけです。

もし、特に地元チームのファンでなければ、

**My home team is the \_\_\_\_\_, but I'm not much of a fan.**

(私のホームチームは\_\_\_\_\_だけど、あまりファンじゃありません)

と言います。アメリカのチーム名に地元名が付いているのは、**home team** 意識が、日本人より強いからなのかもしれません。

さて、いくらスポーツ好きでも、何を話していいのかとっさに思いつかないことがあるものです。困ったときにはこちらから質問！は使える手です。質問文を一つ二つ覚えておけば、とりあえず会話を始めることができます。あとは、返事に沿って話していけばいいのです。

スポーツ系スモールトークのほとんどは情報交換なので、

**What's the latest in soccer?**

(この頃サッカーはどうなっているの?)

**What's happening in the world of basketball?**

(バスケットボール界では何が起きているの?)

と投げかけてみましょう。投げかける質問文は、最近の出来事、あるいは最近、自分が気になっていることでもいいのです。

Track# 9-1

**Sample: 私の好きな野球選手**

W1: **What's the latest in baseball?**

W2: **Well, remember the handsome player I liked?**

W1: **Oh, the one on the pizza commercials?**

W2: **Yeah, he really gained weight!**

W1: この頃、野球はどうなってるの?

W2: 私が好きだったカッコイイ選手、覚えてる?

W1: あ、あのピザのCMの選手?

W2: そう、すごく太っちゃったのよ!





スポーツ好き同士なら、あいさつの **How are you doing?** (元気ですか/調子はどう?) を

**How are the Yankees doing?**

(ヤンキースはどう?)

**Is Michael Bordan playing well?**

(マイケル・ボーダンはいいいプレーしてる?)

と尋ねることもできます。

Track# 9-2

Sample: 今シーズンのアメフトは？

W: **How is the American football season this year?**

M: **I'm not sure. I only watched one game so far.**

W: **Wow, you used to watch it every week.**

W: 今年のアメフトのシーズンはどう？

M: よくわからない。今のところ、一試合しか見ていないんだ。

W: へえ、以前は毎週見てたのにね。

Track# 9-3

Sample: ワールド・シリーズのチームは？

M1: **Hey, who's playing in the World Series next week?**

M2: **Haven't you heard? The Pirates and the Indians.**

M1: **I've been working too much to notice.**

M1: おい、来週のワールド・シリーズはどのチームが出るの？

M2: パイレーツとインディアンズだけど、聞いてないの？

M1: 働いてばかりで気がつかなかった。

ところで、皆さんは **NASCAR** (ナスカー : National Association for Stock Car Auto Racing) を知っていますか。アメリカのモータースポーツでは一番の人気の、意外に女性ファンが多いのが特徴です [F-1 はマイナースポーツ]。日本ではまだそれほど人気はありませんが、実は世界中にファンが 7,500 万人もいて、テレビ中継は 150 か国に及んでいます。グッズの売上はなんと約 3 兆円です！ 子供からおじいちゃん、おばあちゃんまでファンがいて、ハンサムなドライバーは、ふつうに外を歩けないくらいの人気です。スーパーでは写真入りの商品が並び、その横に等身大の写真まで飾ってあるので、ファンではなくても名前と顔はみんなに知られています。スモールトークに出てくる可能性は大きいと思います。

さて、ちょっとした豆知識に、アメリカの人気スポーツ・ランキングをお知らせしましょう。アメリカでは、1) **American Football**, 2) **Baseball**, 3) **Basketball**, 4) **Soccer**, 5) **Ice Hockey**, 6) **Golf**, 7) **Tennis**, 8) **Nascar**, 9) **Poker** [トランプですが、スポーツと考える人はたくさんいます！ なぜでしょうね？], 10) **Boxing** となっています。スポーツ大好きな 3 億人の人口を誇るアメリカ。ですから、このトップテンに入っているスポーツのファンの数、動くお金、メディアの注目度には驚くべきものがあります。

ちなみにカナダは、1) **Ice Hockey** [さすがに寒い国だけありますね], 2) **American Football** です。これを見るとアメフトの人気の強さがわかります。

アメフトの最終戦の **Super Bowl** はアメリカ人の 60 パーセントが見ているそうです！ 見ていないのはルールがわからない赤ちゃんと、一部のおしとやかな主婦だけ、と言われていたほどです。ちなみに、アメフトに興味のない僕の奥さんは [おしとやか？かどうかは別ですが], **Super Bowl** の間、友人たちと **Super Bowl widows** (スーパーボール未亡人=夫がスーパーボールに夢中でまるで未亡人同然の奥さんたちという意味) のパーティを開いていました。

ところで、「スポーツ」の話題が好きなアメリカ人とカナダ人の多くは、自分ではスポーツをしません。テレビ中継を熱心に見ているので、スポーツに詳しくはなりません。一番人気のアメフトでさえ、実際に play している大人はほとんどいません。社会人になってから、走り回ってぶつかり合うスポーツをやるのは無茶なことですからね。

最後にもうひとつ。「チームオーナーについての話題」が、スポーツスモールトークには出てきます。日本では考えられませんよね。日本と違って **private owner** (個人オーナー) が多いアメリカでは、オーナーがニュースなどで取り上げられることが多く、みんなに話題を提供しています。

MLB の 30 チーム中、企業が所有しているのは 3 チームだけ、残りの 27 チームは個人オーナーが所有しています。**Yankees** や **Red Socks** も **super rich private owners** (超大金持ちの個人オーナー) が所有しています。彼らは、スーパープレイヤーを首にしたり、チームの本拠地をほかの州に移したりして、みんなの注目を集めています。ちなみに、ジョージ・ブッシュ元大統領も、大統領になる前は MLB の **Texas Rangers** のチームオーナーでした。約 6,000 万円を投資して、10 年後にはチームの価値が約 16 億円になった、というのも大きなニュースになりました。

アメリカでは、ルールがわからなくてもスポーツの話はできる、ということ覚えておきましょう。スポーツについて話したいときには、

**Let's talk about sports.** (スポーツについて話そう)

と言います。けれど、スポーティに話したいときには、短くスマートに、スポーツ番組のアナウンサーのように、

**Let's talk sports!** (スポーツのこと話そうぜ！)

と言うのもいいですね。



## Chapter 3

### Parenting 子育て

アメリカでは、自分の育った環境について話すのが好きな人はたくさんいます。年配の人なら、自分の娘や息子の子供〔つまり孫〕について喜んで話してくれるでしょう。それほど難しい話題が出るとも思えませんが、ちょっと覚えておくと便利なのが、家族を表す英語です。

親のことを話すときには、**Mom** や **Dad** はもちろんのこと、**step-mother**、**step-father** という言葉を耳にするかもしれません。これは、親の再婚相手を表す言葉、つまり、「義理の母親」「義理の父親」のことです。離婚の多いアメリカでは、会話によく出てくる言葉です。

結婚相手の母親や父親は、**mother-in-law**、**father-in-law** と呼びます。日本語では同じ「義理の～」という表現ですが、英語では別の言葉を使います。それから、アメリカでは珍しくないからか、養子だということオープンに話す人も多いようです。**adopted father[mother]**（養父 [養母]）や **birth father[mother]**（血のつながった父 [生みの母]）という表現を聞くこともあるかもしれないので、覚えておくといいですね。

#### Track# 10-1

#### Sample: 養母と生みの母

**M: Your mother is so nice, and really tall!**

**W: She's real nice, and she's actually my adopted mom.**

**M: I didn't know you were adopted.**

**W: Yeah, I guess my birth mother was short, ha ha.**

M: きみのお母さんは優しいし、とても背が高いね。

W: 彼女はとても優しいわ、それに実は養母なの。

M: きみが養子だって知らなかったよ。

W: そうなの、おそらく生みの母は背が低かったのね、ふいふ。

「新婚ホヤホヤ」は何というと思いますか。 **newly-wed** といいます。新婚ホヤホヤのカップルを見ると、将来のプランについてどう思っているのか、つつい聞きたくなるのは日本もアメリカも同じ。特に子供についての質問が多いのも同じだと思います。

そんなときに思い出して欲しいのは、「子供を作る」という表現は、**make children** ではなく、**have children** (子供を持つ) のほうが良いということです。あるいは **want children** (子供が欲しい) でもいいですね。子供が欲しいかどうかという話題は、プライベートなことなので、あまりストレートな表現をしないほうが良いのです。

Track# 10-2

Sample: いつか子供を

M1: **Do you want children someday?**

M2: **Yes, my wife and I want three.**

M1: **Wow, you'll have to sell your sports car and get a mini-van.**

M1: いつか子供は欲しい?

M2: うん、妻と僕は3人欲しいんだ。

M1: わあ、スポーツカーは売って、ミニバンを買わないとね。



上の会話は、男性同士のジョークになっています。 **get a mini-van** (ミニバンを買う) は、英語社会では「きみの楽しくてカッコいい生活はこれでおしまいだね」という意味があります。子供がいない間はワイルドでファッションブルな車を持てるのに、子供が生まれたとたん、実用的な **people mover** (人を運ぶための車) に乗らなければならないからです。

プライベートな話題ということでは、「妊娠」も同じです。「妊娠」という言葉を辞書で引くと、**pregnant**と出ています。でも、仲のいい友だちならともかく、まだあまり親しくない人と話すときには、ちょっと遠回しな表現を心がけましょう。**expecting**という表現は、「(子供を)産む予定である、妊娠している」という意味で、好んで使われています。ぜひ、覚えておきましょう。



### Sample: 彼女は妊娠中

M: **Kathy looks tired today.**

W: **Don't you know? She's expecting.**

M: **Wow, I didn't know that.**

M: キャシーは今日、疲れているようだね。

W: 知らないの？ 彼女は妊娠しているのよ。

M: へえ、知らなかった。

さて、相手から質問されない限り話題にしないほうがいいのは、子育ての方針や教育方針についての個人的意見だと思います。**In Japan we usually ~.** (日本ではふつうね~) という一般的な意見なら話してもオケーですが、聞かれてもいないのに、自分の個人的方針について押し付けがましく話すのは感心しませんね。

でも、そばにいる子供が、おもしろいことをしたり、おかしいことを言ったりしたときには、それについてちょっとコメントするのは正解です。目の前で起きていることなら、正確な英語で説明しなくても、意外に言いたいことが伝わります。そんなときには、

**Children are really funny.** (子供って本当におもしろいよね)

**Kids really say funny things.** (子供は本当ににおかしなことを言うね)

などが、使いやすい言い回しです。

同じことについて話しても、皆さんそれぞれに会話のスタイルがあるとと思いますが、僕のこだわりは **kids** ではなく、**children** を使うこ

とです。

**kids** はカジュアルに「子供」や「子供たち」の意味で使いますが、ニュアンスによっては「ガキ」という意味もあって、子供を悪く言うときにも使われます。**those noisy kids** (あのうるさいガキたち) とか、**Those kids bother me.** (あのガキたちは気にさわる) のようにです。

**children** のほうは言葉が長い分いていねいで、子供を大事にしている雰囲気伝わるとおもいます。僕の勝手なアドバイスですが、子供が好きな人はできるだけ **children/child** を使うほうがいいと思います。ちなみに子育ては、**kid raising** ではなく **child raising** ですし、幼児教育は **child education** です。べつに **kid** という言葉自体が悪いわけではありませんが、きちんとしたところでは **child/children** が使われています。これだけを見ても、**children** に統一したほうが、安心して話すことができいいと思います。どう思いますか。

Track# 11-2

Sample: いいお母さん

W1: **You have any children?**

W2: **No, not yet.**

W1: **I think you'd be a great mother.**

W1: 子供さんはいらっしゃるの？

W2: いいえ、今のところまだね。

W1: あなたなら、いいお母さんになると思うわ。

Track# 11-3

Sample: 子供好き

M1: **Do you like children?**

M2: **Yeah, but I don't like noisy babies.**

M1: **You can use earplugs like I did!**

M1: 子供は好き？

M2: うん、ただどううるさい赤ちゃんはいやだな。

M1: 僕みたいに耳栓を使えばいいよ！

僕は最初の娘が生まれたときに、夜泣きの問題を **earplugs** (耳栓) というすばらしい方法で解決しました。趣味のカーレースで手に入れた耳栓をすると、娘の泣き声はほとんど聞こえず、世の中が平和になった感じがしました。経験した人ならわかると思いますが、仕事で疲れているときの夜泣きはこたえますよね。夜泣きのストレスで夫婦関係が悪くなる人もいるそうだし、寝不足は仕事のパフォーマンスにも影響します。とはいえ、耳栓を使ったことは、妻や周りの人たちから非難されましたけれど。そうそう、自分自身の名誉のために付け加えておきますが、耳栓をしていても泣き声は聞こえたので、必要なときにはちゃんと面倒をみていました。これは本当です。



### Sample: 双子のお母さん

W: **Look at this picture of my cousin.**

M: **Wow, she has twin boys!**

W: **Yeah, they must wear her out.**

M: **She doesn't look worn out in this picture at all!**

\* **wear out** 「疲れさせる」 / **worn(-)out** 「疲れ果てた」

W: 従姉の写真を見て。

M: すごい、双子の男の子！

W: そう、きっとくたびれるでしょうね。

M: 写真では全然くたびれているようには見えないね！

---

4年後に2人目の娘が生まれたときには、強力な耳栓が見つからず、

**It really wore me out.** (本当にヨレヨレでした)

**wore out** は使い過ぎてボロボロになった状態を表現しています。単純に、**I'm tired.** (疲れた) だけではなく、「何か理由があってヨレヨレになっている」という感じです。ヨレヨレした感じが伝わるので、よく使われている言い方です。



Track# 12-2

Sample: 魔の2歳児

M: **How old is your little girl now?**

W: **She's two and a half now.**

M: **Oh, no, the "terrible twos."**

M: きみの娘は今、何歳になった？

W: もう2歳半になったわ。

M: わあ、「魔の2歳児」の時期だね。

2歳前後は、今までベビーだった子供が、親の言うことを聞かなくなってくる時期。自我が芽生えるということのようですが、「魔の2歳児」とはよくいったものだと思います。英語では **terrible twos** といわれています。よく地面にひっくり返って泣いている子がいますが、きっとこの時期の子供たちですよ。親にとっては大変な時期だと思います。

Track# 12-3

Sample: ベビーシッターを頼もう

W1: **Going out to dinner on your anniversary?**

W2: **I want to, but I need a babysitter.**

W1: **I know a great one, who even helps with studying!**

W2: **Wow! Sounds like a great person.**

W1: 記念日にはどこかでディナーを食べるの？

W2: そうしたいけど、ベビーシッターが必要だわ。

W1: いい人を知ってるよ、勉強も手伝ってくれるし。

W2: へえ、いい人のようね。

ベビーシッターは、まだ日本ではあまりポピュラーではありませんが、アメリカでの子育てには欠かせません。子供抜き夫婦の時間は大切だと考えられているので、ベビーシッターを使って夫婦の時間を作り出すというわけです。

これは 1960 年代から流行りだした習慣で、ティーンエイジャーや女子大学生に数時間、子供の世話を頼みます。もちろん、だれでもいいわけではなく、ほとんどは友だちの子供や知り合いを通じての紹介です。自分の都合のいいときに仕事ができるベビーシッターは、子供好きのティーンエイジャーにとっては、いい臨時の収入源になっています。

最近では、安全性や責任問題が取りざたされてきたので、学校を通じてライセンスを取得するティーンが増えてきています。14 歳くらいの子供でもまじめに講習を受けて、児童心理や子供の安全、遊び方、しつけ、救急処置を習ってから資格をもらいます。まだ若くても、自宅に来てくれる子育てのプロというわけです。値段も安いので、自分の体調が悪いときに来てもらい、子供たちと遊んでもらうこともできます。変に知り合いの大人に頼むより気を使わずに頼めるし、子育て中の親にとっては、けっこう頼りになる存在になっています。



Track# 13-1

### Sample: 厳しいお父さん①

**W: Was your father strict?**

**M: No, I think he was too soft on me.**

**W: Really? That's interesting you say that.**

W: あなたのお父さんは厳しかったの？

M: ううん、僕には甘すぎたと思うよ。

W: そう？ おもしろいことを言うわね。

## Sample: 厳しいお父さん②

M: I don't want to be hard on my children.

W: Why is that?

M: I don't want them to hate me later.

M: 自分の子には、あまり厳しくしたくないな。

W: それは何で？

M: あとで嫌われたくないんだよ。

僕は2歳児の英会話のレッスンもしています。子供の鼻を拭いてあげたり、トイレに連れていったりもしますが、とても勉強になります。

大きくなってからの英会話では習うことができない英語を、子供たちに言ってあげられるのが本当に楽しいんです。 **Let's wipe your bottom.** (おしりを拭こうね) なんて、4歳の子供にはもう言えませんから。

**Invest in the future; have a child and teach them well.**

(未来に投資しよう；子供を持ち、よく教育しよう)

という言い回しがありますが、自分の子供だけではなく、すべての子供にあてはまることだと思います。

話がずれてしまいましたが、「子育て」は明るくていいトピックなので、ぜひ、 **Start a conversation.** (会話を始めて)。



## Chapter 4

---

### Health 健康

西洋と東洋の文化の違いを大きく感じるのは、健康について話すと  
きです。話題はつきません。

#### Japanese live long and healthy lives.

(日本人は長寿で健康的な生き方をしている)

と外国メディアで取り上げられているからなのか、その秘訣を知りたい人はたくさんいます。small talk が long talk になる可能性は大きい  
かもしれません。

このところ欧米では肥満の人が増えてきており、健康はホットなト  
ピックなのです。「健康の国、日本」で生まれ育ったというので、僕  
はよくいろいろと質問されました。僕の妻は日本人ですが、妻も同じ  
でした。

僕が一番印象に残っているのは、やはり女性たちのスキンケアに関  
する関心の高さです。妻はアメリカで肌に合う化粧品が見つからず、  
しかたなくお酒をお湯にまぜて洗顔していました。それを知った酒屋  
の主人がお客に、「彼女の美肌の秘訣は酒だ」と言いふらし、たちま  
ちうわさになって、街の人たちから質問攻めにあつたことがあります。

日本はまだアメリカ人にとっては未知の国。僕の親戚のように、  
**Japanese only eat rice and fish every day, right?** (日本人は毎日、お  
米と魚しか食べないんでしょう?) と大きな誤解をしている人は、まだ  
たくさんいます。ときどきムツとすることもあります。そこはがま  
ん、がまん。

あまり答えたくない質問ばかりする人とは、さっさと会話を切り上  
げてしまいましょう。

## Sample: 微妙な捕鯨問題

W: Why do Japanese still eat whale?

M: It's tasty and whale has many other uses.

W: Don't you think Japan should stop, though?

M: Uhh, I don't know. I better get going.

\* **get going** 「急いで行く, 出発する, 出かける」

W: 何で日本人ってまだ鯨を食べてるの？

M: ま、おいしいし、いろいろ使えるんだよ。

W: でも、日本は捕鯨をやめたほうがいいと思わないの？

M: さあ、どうなのかなあ。もう行かなくちゃ。

**I don't know.** と話したくなさそうに答えれば、「この話題についてはあまりコメントしたくないのだ」と相手に伝わるはずです。

さて肥満は、アメリカ人にとって、国をあげての大問題になってきています。あまりに大きな人を見かけると、ついつい何か言いたくなってしまうのですが、肥満に関しては、ちょっと気をつけて欲しいことがあります。まずは、次の会話を読んでみてください。

## Sample: 背が高いのか、太っているのか

W: Jeff, why are many Americans so big?

M: You mean tall? Or overweight?

W: Overweight.

W: ジェフ、何で多くのアメリカ人はあんなに大きいの？

M: 背が高いってこと？ それとも体重オーバーのこと？

W: 体重オーバー。

## Sample: 高カロリーの特別食

W: How do Japanese Sumo wrestlers get so fat?

M: Well, they eat a special stew.

W: Really? It must have a lot of calories!

W: 何で日本の力士はあんなに太ってるの？

M: まあ、特別なシチューを食べるんだ。

W: 本当？ きっとカロリーが高いんだろうね。



ここでの **big** の使い方は大切です。 **big** は「背が高い」と「太っている」の両方の意味で使われています。意味があいまいな分、言われると傷つきやすい **fat** よりは多く使われています。日本人は **fat** という単語を気軽に使いますが、できれば違う言い方を覚えて欲しいと思います。自分のことを、 **I'm fat.** (私は太っています) と、冗談交じりに言うことはありますが、「**fat** は差別用語だ」と感じている人もいるくらい、使い方に注意が必要な単語です。

簡単にいえば、 **fat** は「デブ」というニュアンスを含んでいるということです。ただ、力士の話をするときには、アメリカ人はつつい **fat** という言葉を使ってしまうようです。「小さくて細いイメージがある日本人が、どうして??」ということらしいですね。

「それでは『太っている』人を見たら何て言えばいいの?」という質問が聞こえてくるようですが、 **big**, **large** がいいでしょう。 **big-boned** (骨太)、 **full-figured** (ふっくら体型)、 **plus-sized** (大型サイズ) もいいでしょう。それから、これは少しきつい言い方ですが、 **overweight** (標準体重を超えている) という言い方もあります。これでも **fat** よりはずっと穏やかな言い方なのです。

## Sample: 骨太な女性

W: Do you know Mrs. Ohgata?

M: Oh, that fat lady?

W: Hey! She's big-boned, not fat!

M: You're right. She's a little big but she's tall.

W: オオガタさん、知ってる？

M: ああ、あの太った人？

W: ちょっと待って。彼女は骨太だけど太っていないよ。

M: そうだね。彼女は大きいけれど背も高いしね。

もうひとつ、間違っって使われることの多い単語があります。今度は「やせている」と言いたいときの単語です。何しろ体重に関しては、国籍を問わず、だれでも傷つきやすいものです。下の会話で見てください。

## Sample: 頭がいいのか細いのか

W: Is obesity a big problem in Japan?

M: No, many Japanese are smart.

W: Smart? What?

\* **obesity** 「(極端な) 肥満」

W: 日本では肥満は大きな問題？

M: いいえ、多くの日本人はスマートだよ。

W: 頭がいい？ 何？

「スマート」は和製英語です。日本語では「細い」という意味ですが、英語では「頭がいい」という意味になります。**fat**と違って、**smart**と言われて傷つく人はいないと思いますが、話が通じないのは困りますよね。覚えづらかったら「頭がいい」を **intelligent**、「細い体」を **slim** と覚えましょう。

そうそう、**skinny** も間違っははいせんが、「不健康にやせこけて  
いる」というネガティブな意味もあるので、僕はあまり使わないよう  
にしています。本当に細い人には、使わないほうが安全だと思います。

さて、「日本人は健康だというイメージがあるのに、なぜ相撲取り  
は太っているのか」、多くの外国人が不思議に思っています。

まず、

**Actually, they are quite healthy.** (実は彼らはわりと健康的なんだ)

と伝えましょう。ただ体重を増やしているのではないこと、毎日激し  
い稽古をしていて体も柔らかいことも伝えれば、みんなビックリしま  
す。

**They train many hours a day.**

(一日何時間もトレーニングをするんですよ)

**They are flexible.** (彼らの体は柔らかいんです)

と言ってみてください。あるいは、

**They can do splits.** ([彼らは] 開脚ができるんですよ)

**They eat about 5,000 calories a day and take naps.**

([彼らは] 一日に5,000キロカロリー分の食事をして、昼寝をするんです)

もいいですね。驚かれること間違いなしです。こうすれば短い文章で  
おもしろい会話を続けることができます。ちなみに、**calorie** は「キ  
ャロリー」と発音したほうが通じやすいようです。

さて健康でいるためには、**exercise** (運動) も **sleeping** (睡眠) も  
**medicine and supplements** (薬とサプリメント) も大切です。こうい  
うことを、ふだんの会話にちょっとちりばめられると、会話がはずみ  
ます。



## Sample: 階段を使おう

M: **Where's the elevator?**

W: **Over there, but the stairs are faster.**

M: **Healthier, too! Good idea!**

M: エレベーターはどこ？

W: あっただけど、階段のほうが早いよ。

M: もっと健康にいいし！ いいアイデアだ！

ところで、アメリカやカナダの文化を通して見ると、日本人は日常生活で本当によく歩くと、階段もよく使います。子供たちもスクールバスがないので徒歩で通学するし、自転車にもよく乗っています。意外に、この毎日の生活で歩く歩数が健康につながっているようです。「毎日1万歩歩くと健康にいい」と言われていますが、日本人は毎日平均8,000歩くらい歩いているそうです。それに比べると、アメリカ人の平均歩数は2,000歩くらいだそうです。そこで、外国人が日本に来ると、**Everyone walks so much.** (みんなたくさん歩く) とビックリするわけです。**Crowded Japan is a giant walking course.** (狭い日本は巨大なウォーキングコースだ) でしょうか。

## Sample: 寝る前のストレッチ

W: **What exercise do you do?**

M: **I just do some stretches before I go to bed.**

W: **That's good. I should do that, too!**

W: どんな運動をしているの？

M: 寝る前にストレッチするくらいかな。

W: それはいいね。私もやらなくちゃね！

Track# 17-1

Sample: ジョギング

W: I heard you are a runner.

M: No, I'm just a jogger.

W: My husband jogs, too.

W: マラソンをするんですって？

M: ううん、ジョギングをするだけだよ。

W: 私の主人もジョギングをするのよ。

Track# 17-2

Sample: やせている花屋さん

W: I wish I could be slim like my neighbor.

M: Then you should own a flower shop, too.

W: That standing and squatting must be her secret.

W: 隣の人みたいにやせたいな。

M: じゃあ、きみも花屋さんを経営すれば。

W: 立ったりしゃがんだりしているのが、彼女のやせている  
秘訣でしょうね。

睡眠も大切だと、夜中に書き物をする僕はいつも思います。でも書くことが大好きなので、時間を気にせずパソコンのキーボードを打ち続け、気がつくと新聞配達車のバイクの音が聞こえてくる時間になっています。新聞配達車は毎朝3時から4時の間に来るので、ブーンと音が近づいてくると、**Oh, no! What am I doing?** (ああ、僕は何をしてるんだ) と急いでベッドに入ることになります。

睡眠が大切なことはわかっていますが、毎日ぐっすり寝ている大人はなかなかいないのではないのでしょうか。東京の最終電車は、サラリーマンでけっこう満員のようです。仕事で遅くなったのか、飲んでいて遅くなったのか、どちらにせよ早寝早起きは大切です。皆さんは何時頃寝ますか。

Track# 18-1

Sample: 寝る時間

W: When do you go to bed?

M: Usually around 11:00.

W: That's pretty good.

W: 何時に寝るの？

M: ふつうは 11 時くらい。

W: けっこういいね。

Track# 18-2

Sample: 理想的な睡眠時間

W: Dr. Nerunoski is a sleep specialist, right?

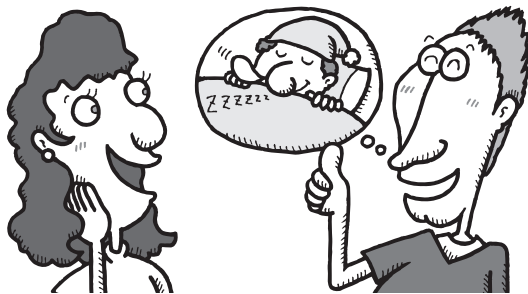
M: Yes, and he recommends 9 hours of sleep daily.

W: Wow, he must love sleeping!

W: ネルノスキー先生は、睡眠スペシャリストでしょう？

M: うん、そして彼は毎日 9 時間の睡眠を勧めているんだ。

W: わあ、寝るのが大好きなんだろうね！



お医者さんたちは、

**You need to sleep to be healthy.**

(健康でいるためには寝ないといけませんよ)

と言いながら、自分たちは睡眠不足を続けて勉強し、医者の資格を取ったのでしょね。おまけに、患者さんのために夜も働き続け、ということも多いはず。夜、仕事をするのはお医者さんたちだけではありません。ほかにも警察官やトラックの運転手やコンビニで働く人は、夜、働かなくてはなりません。働くのは本当に大変なことですね。

Track# 19-1

Sample: 温泉に行ってリラックス

**M: I need to go somewhere and relax.**

**W: You should go to a hot spring.**

**M: Really? Hot water doesn't sound relaxing.**

**W: Ahh, once you get in, it'll melt your stress away!**

M: どこかに行ってリラックスしなくちゃ。

W: 温泉に行けばいいわよ。

M: そうかなあ。熱いお湯はリラックスできるように感じないな。

W: ああ、入ってみればストレスがとけていくわよ。

Track# 19-2

Sample: 十分な睡眠時間

**W: You look refreshed today.**

**M: Yup, I slept 10 hours last night.**

**W: Wow, I haven't slept that much in months!**

W: 今日はさわやかだね。

M: うん、昨日 10 時間寝たんだ。

W: わあ、私は何か月もそんなに寝てないわ！

さて、日本で風邪をひいたらマスクをするのはあたりまえですが、アメリカやカナダでは、マスクはとても目立ちます！ 不審者か、それとほとんどない感染症にでもかかったのか、口の周りに整形手術をしたばかりなのかと思われるかもしれませんね。日本に来た外国人

は、いいアイデアだと思うようですが、それでもあまりマスクをしている外国人は見かけません。

アメリカでは、風邪をひいた人がティッシュの箱や鼻スプレーをそのまま持ち運んで仕事をしているのをよく目にします。ちなみに、アメリカでは人前で鼻をかむのはお行儀の悪いことではありません。日本でなら気になると思いますが、銀行の窓口の人が目の前で鼻をかんだり、鼻スプレーをプシューンとしてから、**Sorry, I have a cold.**（ごめん、風邪をひいてるの）と言ったりします。とりあえず、**It's OK.**（かまいませんよ）と返事はしますが、あまり気分のいいものではありません。僕は日本育ちなので、こうした習慣にはなかなか慣れることができないのです。

Track# 20-i

Sample: くしゃみ

W: **Achoo! Sorry, I have a cold.**

M: **It's OK, we're all human.**

W: **Well, I'll try to keep my germs to myself.**

W: ハクション！ ごめん、風邪をひいていて。

M: いいですよ、みんな人間だしね。

W: でもバイ菌をうつさないように気をつけるわね。



英語圏では、それほど親しくない人にでも、体調を聞かれれば、

**I have a fever.**（熱があるんです）

と答えたりしますが、これもコミュニケーションのひとつで、フレンドリーであることの証拠です。

**You should take a few pills.** (薬を飲めば)

と返します。**pill** は日本語のピルと違って避妊薬のことだけではなく、全体的に「薬」を意味します。

そうそう、アメリカではちょっと体の調子がおかしいと、我慢せずにすぐに薬に頼ります。しかも、医者に診てもらう前に！ 日本では医者に診てもらってから薬を飲みますが、アメリカでは多くの方は医者判断より、自分の気分を信用するので、勝手にいろいろな薬を買って飲んでいきます。

それもあってか、薬局では、日本に比べると処方箋なしでも、けっこう大量に強い薬を買うことができます。見たことのある人はきっと驚いたと思いますが、たいていの家庭には頭痛薬の入った大きなボトルがあります。ひとつのボトルに1,000錠の薬が入っているものもあります。欧米では、頭痛薬を頭痛だけではなく、筋肉痛の痛み止めや血液をさらさらにする効果があるとかで、毎日のように飲む人がいるようです。**What do you think?** (あなたはどう思いますか)。



Track# 20-2

### Sample: 強力な頭痛薬

**W: You're still taking pills for headaches?**

**M: These are new stronger extra-strength pills.**

**W: You should go to a doctor sometime.**

**M: I want to fix it myself with over-the-counter pills.**

\* **over-the-counter** 「(薬が) 処方箋なしで購入できる、市販の」 / **extra-strength** 「(薬などが) 超強力な」《形》

W: まだ頭痛薬、飲んでるの？

M: これは新しくもっと強力な薬さ。

W: いつか医者に診てもらったほうがいいよ。

M: 買ってきた薬で、自分で治すよ。

## 【コラム②】 会話がはずむ表現

会話がはずむ表現は、すぐ取り出せるようにしておきましょう。どのスモールトークでも会話の炎が消えそうになるときがあるので、コップ一杯のアルコールを火の中に投げ込むようなフレーズも大切にしましょう。肝心なのは最初の2語、3語が刺激的であることです。

I was surprised that ...

I don't see how ...

Let me know how ...

Strange how ...

How about ...?

What about ...? 〈How about ...? とほとんど同じ〉

Quite a ... \* quite a A 「〈驚き・賞賛〉実に、すばらしい～、大した～」。A は単数名詞。

Check this out. (ちょっと、これどうぞ)

こんなふうにはしかけられたら、相手は黙っているわけにはいなくなって、きっと返事をしてくれるはず。本当はスモールトークでは、会話が長くなってしまふ可能性のある **how** をあまり使いたくないのですが、確かに会話を引き出す効果はあります。**How** (どうやって/どう) で始めると、話し好きな人の説明が止まらなくなってしまうかもしれないリスクはありますが、有効な会話の始め方ですね。

スモールトークはあまり感情に訴えることはしないほうがいいのですが、会話をはずませるために、少し手を動かしてみるといいかもしれません。ただし、スモールトークの場合は手だけ、つまりヒジや肩を動かさない「スモール表現」に限ります。**how** と **what** を言うのと同時に手のひらを上に向けるのが一般的です。そして、驚きを表す **surprised** や **strange** には人差し指を上げると、相手も自然と注意をこちらに向けるようです。

手が使えようになったら、今度は声の表情にも注意してみましよう。上記の例のそれぞれで、声のトーンで感情表現できる言葉に下線をひきました。是非、このフレーズを一つずつ練習し、下線のところを強く、少しゆっくりと言ってみてください。そうすると相手に感情が強く伝わり、会話がはずむようになると思います。



## Chapter 5

---

### Hospital 病院

**Laughter is the best medicine.** (笑いは最高の薬だ)

を信じている人は多いし、僕もそのひとりです。なぜなら、笑うと脳が活性化されるし、体も健康になるからです。

アメリカの名医は患者の緊張をほぐすために、ユーモアのあるスモールトークを心がけています。僕がアメリカでとてもお世話になったお医者さんも、行くたびに欠かさずユーモアを交えたトークをしてくれたものです。

結婚してすぐ、妻があちこち体の不調を訴えたことがありましたが、彼女を診察したドクターは、**Nathan, you got a lemon.** (ネイサン、ボンコツをもらったね《lemon = 不良品、欠陥品、欠陥車》)と、やさしく笑いながらコメントしました。結婚前から、妻もずっとお世話になっていたドクターだから言えるジョークですよ。もちろん、きちんと治療もしてくれました。

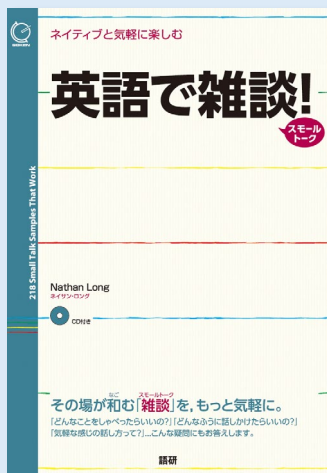
ジョークは「余裕のあるいい人」の証拠だと言われているので、ぜひ、ユーモアのあるスモールトークにチャレンジしてみてください。

ジョークがどんなにアメリカ人にとって大切かを表す、こんな話があります。

レーガン元大統領が銃弾に倒れて手術室に運ばれたとき、周囲の医者には、**I hope you are all Republicans.** (きみたちみんな共和党だといいいけど) と言ったそうです。皆さんもよくご存じのとおり、レーガンは共和党なので、反対勢力の民主党のドクターがいたらこのまま殺されかねない、という意味のジョークです。「すごい余裕、さすが大物！」とその場にいた全員が思ったはずですよ。

病院に行く人に、





英語で雑談！

ためし読みはここまでです。

Webページへ

